



気象情報の手話CGを自動生成するシステムを開発

～関東7都県の手話CG気象情報の検証サイトを開設～

■NHKは、気象庁が発表する気象情報をもとに、CG(コンピュータグラフィックス)の手話による天気予報の動画を自動的に生成する技術を開発し、これについての評価やご意見をいただくサイトを開設しました。

■NHKでは、聴覚に障害のある方へのサービスの拡充に向けて、気象情報を伝える手話CGの自動生成システムの研究開発を進めています*1)。今回、自動生成された手話CGの表現のわかりやすさや自然さについての評価やご意見をいただくサイトを開設しました。関東7都県の天気予報の手話CGを1日3回自動更新しています。

■本システムは、手話通訳士の動作をモーションキャプチャー技術*2)で記録し、基本的な手指動

作や表情などを表すCGをあらかじめ用意しておきます。聴覚に障害のある方や手話通訳士の意見を参考に作成した天気予報の手話表現をベースに、気象庁から発表される「晴れ」や「10℃」などの日々変化する天気や気温のデータと基本動作を表すCGを組み合わせることで、手話CGの動画を自動的に生成します。

■今後、対象の地域の拡大や緊急時の警報などの提供も検討していくとともに、障害者や高齢者にわかりやすく情報をお伝えするための「人にやさしい放送技術」の研究を進めていきます。

*1) 本研究の一部は、学校法人工学院大学と共同で進めています。

*2) 身体に反射材のマーカを多数貼り付けて、その動きを特殊なカメラで撮影することで、身体動作をコンピュータに記録する技術。

NHK 広報局広報部資料より



気象情報手話CGのホームページは、パソコンやスマートフォンで視聴することができます。アドレスは下記の通りです。

また、手話CGについての評価や意見を募集しています。

気象情報手話CGホームページアドレス <https://www.nhk.or.jp/strl/sl-weather/>

情報センターのホームページをリニューアルしました!

平成28年12月に情報センターのホームページをリニューアルいたしました。

今回のリニューアルで全国の聴覚障害者情報提供施設(情報センター)の所在地を示した地図(googleマップ)や、岐阜県内の映画館の所在地、さらに岐阜県及び名古屋市で上映される字幕付き映画のスケジュール表も追加しました。

ぜひ一度ご覧ください。

アドレスは <http://gifudeafcenter.jp/> です。





聴覚障害者セミナー（高山市）

平成 28 年 11 月 19 日（土）に高山市民文化会館で聴覚障害者セミナーが開催されました。講師は飛騨保健所の管理栄養士・糖尿病療養指導士である新谷由加里氏が『おいしく食べて健康づくり』をテーマに講演していただきました。

食事をバランス良く食べましょう！とよく言われますが、そもそもバランスってなんでしょうか。

主食（ごはん・パンなど）、主菜（魚介類・肉類など）、副菜（野菜・海藻など）、もう一品に汁物（味噌汁・スープなど）を加えると、一般的にバランスがいい食事とされています。

また野菜の摂取目標量は 1 日 350g といわれていますが、岐阜県の統計データ（平成 23 年度）では、男女ともに 300g 前後と、目標量に少し届いていません。ちなみに、全国 1 位の摂取量はお隣の長野県で、男性は約 380g、女性は約 365g の摂取量となっています。

食事のバランスも大切なことですが、合わせて運動をすることも推奨されています。運動といってもジョギングなどの本格的なものでもなくても、家事や家庭菜園、歩いて買い物に行くことも立派な運動になるので、ちょっと意識的に行ってみるといいかもしれません。

開催地（飛騨地域）に合わせた統計データでは、地域柄、漬物を食べる機会が多いためか、食塩の摂取量が全国平均・岐阜県平均よりも多いという結果が出ており、講師からは、塩分のとり過ぎには注意しましょうとコメントがありました。

最後に講師の方より『すごく楽しかった。私も手話を覚えたくくなりました。』というコメントがあり、参加者だけでなく、主催者側としてもとてもうれしく思えた一言でした。このセミナーを通して手話の普及ができたことも良かったと思いました。

（紙面の都合で、紹介が遅れてしまいました。）

平成 28 年度要約筆記者養成講座を終えて

今年度の岐阜県要約筆記者養成講座は、平成 28 年 4 月の開講から約 10 か月間にわたり、平成 29 年 1 月に無事修了いたしました。修了者は手書きが 3 名、パソコンが 2 名です。みなさん意欲的に通われ、皆勤の方も 2 名あります。

聴覚障がいを持つ方との関わりが全くない方がほとんどでしたので、初めて聞くことも多かったと思います。講師のみなさんの工夫された講義のおかげで、専門的な知識もより深い内容で学ぶことができたと思います。また、実技実習の時間も多く、より細かな指導が受けられ、確かな技術の習得につながったと思います。

1 年間、熱心に講座に通われた受講生の皆さんの声を一部紹介します。

- ・最初は「要約」というところに興味を持ち、仕事などでも役立つのではと思い受講しました。耳に障がいのある方の苦労などを知り、自分の思いとのギャップに苦しい時もありました。受講する内に自身が変わった部分もあり、活かしていきたいと思います。
- ・話の要約をすることが苦手なので受講を希望しましたが、思っていたことと違って戸惑いました。
- ・友人から勧められ気軽な気持ちで受講しましたが、なかなかハードで、回を追うごとに内容も濃く難しく厳しかったです。
- ・聞くことに困難のある方を知り、聞けることを大事に感じ、人の話をまずよく聞こうという気持ちも生まれました。

- ・今まで聞き漏らしが多く伝えることの難しさを感じていましたが、少しずつ内容を聞き伝えることに意識が向くようになったことはうれしいことです。
- ・福祉には興味がありましたが、講義で勉強したことで活字等の中で目に留まるようになった話題もありました。
- ・技術面は未熟ですが、日常的に使える技術や心構えにしたいと思います。
- ・歴史など、自分が生きてきた時間と照らし合わせつつ、先人の努力に感服しつつ、理解を深めることができ良かったと思います。
- ・スタートラインに立てるまでに長く時間がかかりそうですが、あきらめず挑戦したいと思います。
- ・講師のみなさんには遠い所まで何度も来ていただきありがとうございました。

本当に1年間お疲れさまでした。みなさんの思いがさらに深まり、聴覚障害者に寄り添って活動できる要約筆記者が増えることを期待しています。

これからも、お互いに刺激し励まし合いながら頑張りましょう。

手話通訳者養成講座 高山会場修了 (平成27・28年)

平成28年12月17日に無事に修了式を迎えられた受講生の方の感想文を掲載させていただきます。

●講座でよかったことは、ちょうどよい人数で、仲間と協力しあって講座を受講できたことです。また、ほんの少しですが、受講前と後では、「通訳者」という理解が深まったように思います。

●あっという間の2年間、「手話通訳者」をよく知らない中で、講座受講を申し込んだことを後悔したこともありましたが、手話を表現するだけでなく、ろう者の生活支援に関わる等、手話通訳者は、思っていた以上に奥深かったです。



●手話通訳者の受講を迷ってみえる方がいたら、与えられたチャンスだと思って、是非、チャレンジしてみてください。私たちは年齢層も習熟度も幅広かったです、仲間のおかげで、2年間通うことができました。良かったです。

●「手話ができる」と「手話通訳ができる」との違いや、なぜ「手話は言語」と言えるのか、講義で、初めて知ったことが多く、それを学んだことにより、講座を受講する上での自信につながったように思います。

●毎回、情熱的な講師のみなさまや、一緒に学ぶ仲間に出会えるのが楽しみだった講座でした。



●私は「通訳者に向いているのだろうか？」と思うのですが、今は、いろんなろう者の方々と交流をしたいという思いが強くなってきたので、続けて勉強をしたいと思います。

●講座の中で特に場面通訳は楽しかったです。他の方の手話通訳もたくさん見ることができ、意見交換は、いい学びでした。読み取り通訳と聞き取り通訳の切り替えは、意識をしながらも、とても難しかったです。

●統一試験受験を決めてから、1つの目標ができ、取り組みましたが、すでに遅し……。でも、今後の勉強方法は分かった気がします。

●場面通訳は、とても貴重な経験となりました。場面・対象者・環境等で、同じ現場というものがなく、毎回、真剣勝負。きっと、この緊張感が、次へのモチベーションになっていくのだと思った。

●講座が進む中で、段々と難しくなり、「行きたくない・・・」と思うことがありましたが、手話を勉強している友人に「勉強できることは贅沢なんですよ」と言われ、気持ちを新たにしました。今、思えば、みんなと一緒に勉強ができ、一生の宝になりました。

講座開催中



「ゼリーキャンドル」平成28年12月3日(土)
講座募集案内に『ゼリーキャンドルを作しましょう!』と掲載したものの、ゼリーキャンドルがどんなものなのか、イメージができなかったようです。

ゼリーキャンドルとは、ロウの部分がゼリーみたいにプルプルしていて、透明感があるおしゃれなキャンドルです。

作り方もとても簡単で、アレンジ次



第でいろんなデザインの物が作れます。

当日は講師のミスで作り方の順番を間違えてしまいましたが、それでも和気あいの雰囲気で作成できました。

何かを作る時は、皆さん童心に返る姿がとても微笑ましく、出来上がった時の笑顔がとても素敵でした。



「健康寿命をのばすために

しっかり貯筋(ちょきん)をしよう!

平成28年11月24日(木)

体を動かすことの大切さについて学び、足腰を強くして外出が楽しくなる「貯筋体操」を教えてくださいました。

長く続けるコツは「ながら体操」。料理をしながら体操、テレビを見ながら体操をしていると、自然に習慣になって長続きできますよ!



「要約筆記体験教室」

聴覚障害者とのコミュニケーション方法の一つの要約筆記を体験するこの教室。

聞こえにくい状況を、ヘッドホンをして擬似的に体験していただき、その状態でホワイトボードを使って「文字」で会話をしていただきました。話す言葉を文字で表すことは簡単なようで意外に難しかったようで、一生懸命書かれていました。



情報センターでは、様々なテーマで講座を開催しております。

講座の案内チラシは、情報センターのホームページやブログに掲載しています。また事務所でも配布しています。

同じ内容を手話による動画での公開もしておりますので、合わせてご覧ください。紙面では伝わりにくい手作り作品などは、動画で見本を見ることができますよ。



(動画サイトより)



LINE



facebook



ブログ

左のQRコードを利用すると、情報センターのブログ、LINE、Facebookに簡単にアクセスできます。ぜひご利用下さい。

